

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 30 年度 第 1 回理事会 議事録

開催日時：平成 30 年 5 月 18 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：後藤、兼子、高木、浅野、松浦、川島、舟橋、佐々木、荒井、乙訓、青木、棚村、
市川、帖佐、佐藤、清水、高崎、柴、森、太田

欠席者：早川、美濃輪、林（泉）、林（博）

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

日臨技より会費の送金があった。平成 30 年度会費 10,000 円×30 名=300,000 円、平成 30 年度入会金 500 円×2 名=1,000 円。送金合計額 301,000 円は 4 月 27 日に振込み手続きが完了した。（高木理事）

長浜バイオ大学よりバイオサイエンス学部臨床検査学プログラム教員募集についての案内がありました。岐臨技 HP に掲載しました。（高木理事）

日臨技より検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について受講促進のための動画活用をすすめています。岐臨技 HP よりバナー掲載にて PR していただきたいとの案内であった。岐臨技 HP のホームにバナー掲載しました。（高木理事）

公益社団法人岐阜県看護協会より「平成 29・30 年度認知症対応力向上講習会 B」の後援名義使用について承諾がありました。（高木理事）

岐阜県病院協会医学会より第 34 回岐阜県病院協会医学会のご後援依頼についての案内があった。会期は平成 30 年 10 月 21 日（日）、会場は長良川国際会議場、テーマは「高齢化社会に向けての処方箋は何か」岐臨技として後援を承諾いたしました。（高木理事）

岐阜県健康福祉部長より岐阜県合同輸血療法委員会委員の推薦についての依頼がありました。平成 24 年度から岐阜県合同輸血療法委員会を設置し岐阜県臨床検査技師会から森本剛史会員に委員として協力いただいていたが平成 30 年 5 月 29 日をもって委員の任期が満了となり改めて委員の推薦をお願いしたいとの依頼であった。（高木理事）

輸血細胞治療部門の部門長は引き続き森本剛史会員であり改めてもう一度お願いし、了解をいただきました。（兼子会長）

武儀医師会よりがん検診啓蒙講演会後援依頼についての案内がありました。今年度も引き続きがん検診啓蒙の一環としてタレントの原千晶氏を招き講演会を開催する運びとなりました。是非後援を頂きたいとの内容であった。後援を依頼することで承認しました。（高木理事）

高木理事より岐阜地区からの報告があった。

平成 29 年度第 56 回岐阜県医学検査学会の決算書について報告があった。

開催日は平成 30 年 3 月 25 日 9:30~16:00、開催場所は OKB ふれあい会館、参加者：132 名（会員・賛助会員）市民公開講座の市民参加者は 32 名であった。

決算書について報告があった。収入の部が参加費 132 名（132,000 円）、広告料 9 社（90,000 円）、ランチョン広告料 2 社（100,000 円）収入合計額（322,000 円）であった。支出の部が印刷代資料集 400 部（183,600 円）、消耗品講師お茶菓子・お茶代（3,737 円）諸謝金、教育講演講師料源泉徴収込（55,685 円）、市民公開講座講師料源泉徴収込（33,411 円）、外部講師交通費（6,682 円）、参加者弁当代（1,000 円×110 個）（110,000 円）、会議費日当・交通費・弁当代（67,320 円）負担金 OKB ふれあい会館会場費 前日準備（32,400 円）、OKB ふれあい会館会場費 当日（41,000 円）会場附属設備（マイク 4 本・プロジェクター・講演机・司会）（20,490 円）市民公開セミナー景品奥田先生執筆（日本人の体質）680 円×5 冊（3,400 円）、振込み手数料（972 円）支出合計（558,697 円）であった。収支合計額△236,697 円となった。

反省点として県学会抄録集広告掲載募集要項について「募集数 8 社以上」と記載し募集をかけたことについてご指摘を受けました。今後は具体的に「8 社」とか「目標 8 社」と記載して賛助会員宛に発送いたします。

学会案内の演題発表形式及びスライド作成について、今後は、発表用 Power point のスライドは「4:3」の比率画面に対応した標準サイズで作成してくださいとの文章を付け加えて対応していきます。

県学会の演題抄録について、これまでは Web に公開されていませんでしたが今後も非公開でいくかについて、如何でしょうか。（高木理事）

平成 30 年度から Web 公開する方向で進めましょう。（兼子会長）

以上承認されました。

松浦理事より西濃地区からの報告があった。

平成 30 年度春季拡大研修会及び定時総会の日程について報告があった。

開催日時は平成 30 年 6 月 10 日（日）午前 9 時より受付開始、午前 9 時 30 分 開催。

会場は岐阜医療科学大学早緑ホール。メインテーマは急性腎障害（AKI）を考える。サブタイトルは臨床側からのアプローチと検査側からのアプローチ。

当日日程については 9:00 より 受付開始、9:30~9:40 岐阜県臨床検査技師会会長挨拶（兼子徹）9:40 ~10:40 生物化学分析部門研修会『救急医からみた AKI』岐阜大学附属病院 高次救急治療センター臨床講師 鈴木浩大先生、司会：岐阜大学附属病院 石田秀和技師、10:50~11:50 臨床一般部門研修会『急性腎障害（AKI）を考える～検査側からのアプローチ～』北陸大学医療保健学部教授 油野友二先生、司会、岐阜赤十字病院検査部 林晃司技師、12:00 ~13:00 ランチョンセミナー、富士レビオ株式会社 学術サービス部 吉尾仁美先生『腎臓の基礎と関連バイオマーカー（L-FABP）のご紹介』

シスメックス株式会社名古屋支店学術サポート課 白石泰彦先生『敗血症の検査・診断・治療の基礎について』13:20～14:20 市民公開講座『働く人の健康管理-労働衛生の見地から-』エスアンドエイチコンサルタント事務所所長 永田寛彦 先生、司会:岐阜県臨床検査技師会副会長 浅野敦理事。

14:20～14:30 定時総会受付、14:30～15:30 より平成30年度定時総会(功労賞、永年勤続表彰)、総会終了後 旧理事及び新理事引き継ぎ顔合わせを予定。(松浦理事)

講師料については鈴木浩大先生が30,000円、油野友二先生が30,000円、永田寛彦先生が30,000円で承認されました。

以上承認されました。

予算案について、収入の部は参加費120名(120,000円)、広告料10社(100,000円)、ランチョン広告料2社(100,000円)、日臨技助成金(50,000円)収入合計(370,000円)。

支出の部は垂れ幕5枚(50,000円)、資料集(200,000円)、講師お茶・お菓子・文具(3,000円)、参加者弁当代(120,000円)、会議費(50,000円)、負担金(20,000円)、振込み手数料(540円)支出合計(563,540円)収支合計(-173,540円)である。(松浦理事)

資料集は300冊用意する、学生の参加費は無料、学生のお弁当は無し、ということで承認されました。

以上承認されました。

市民公開講座は講演テーマ『働く人の健康管理-労働衛生の見地から-』エスアンドエイチコンサルタント事務所所長 永田 寛彦先生。

講演内容は「元気で働くとともに健康で快適な生活を送りたい」と誰もが願っています。しかし今日、長時間労働などの「過重労働」による健康障害が大きな社会問題となっています。原因として恒常的な残業や休日出勤などによる労働負荷の増大、睡眠時間などの不足による疲労の蓄積が挙げられます。この結果、脳・心臓疾患の発症、精神や自律神経障害、更には自死などの深刻な事態に加え、判断力や集中力の低下による事故やケガの発生も増加するといわれています。今回、永田先生より『長時間労働とは』『長時間労働による健康障害のリスク』『脳・心臓疾患発症と動脈硬化』『脳・心臓疾患のリスクを調べる検査』『労災保険二次健康診断等給付の特徴と要件』『健康診断実施後の事業主の責務』を中心にお話しして頂きます。(松浦理事)

春季拡大研修会のスタッフは後藤浩理事(揖斐厚生病院)、外川綱生会員(揖斐厚生病院)金山好光会員(関ヶ原診療所)、桑原理恵会員(博愛会病院)、北平敏幸会員(海津市医師会病院)、清水康之理事(大垣市徳洲会病院)、南嶋隆文会員(大垣市徳洲会病院)、

浅野敦理事（大垣市民病院）実行委員長、高木明美会員（大垣市民病院）、石田優人会員（大垣市民病院）、川島直樹理事（西美濃厚生病院）事務局、片桐麻衣会員（西美濃厚生病院）、高崎昭彦理事（岐阜医療科学大学）、乙訓貴之理事（岐阜医療科学大学）、守田直樹会員（メディック）、松浦康博理事（メディック）事務局の 16 名である。（松浦理事）高崎理事と乙訓理事は岐阜医療科学大学で開催するため実務委員として協力していただけます。（松浦理事）以上承認されました。

資料集の印刷代について南進社と旭クリエイトの 2 社より見積もりを取りました所、旭クリエイトが安い見積もりでしたので旭クリエイトに印刷を依頼します。（川島理事）以上承認されました。

新井理事より飛騨地区からの報告があった。

平成 29 年度飛騨地区総会を開催した。開催日時は平成 30 年 3 月 11 日（日）17：00～18：00、開催場所は久美愛厚生病院久美愛ホール。

地区総会の成立 飛騨地区会員数 67 名 出席者 14 名 委任状 40 名により出席者及び委任状が過半数以上により総会は成立した。

議案 1) 平成 29 年度活動報告について、①第 28 回高山市市民健康まつり、平成 29 年 10 月 1 日（日）高山市保健センターで開催、活動内容と参加スタッフ数と検査コーナー市民来場者数及び決算について報告した。②平成 29 年度秋季拡大研修会、平成 29 年 11 月 12 日（日）飛騨・世界生活文化センターで開催、活動内容と参加スタッフ数と研修会参加者と市民公開講座来場者数及び決算について報告した。

2) 平成 30・31 年度飛騨地区理事選出について、飛騨地区役員選出方法について説明した。次年度の理事候補者は次の 3 名の方を推薦した。（高山赤十字病院）松本 信子会員、（下呂温泉病院）熊崎 幸代会員、（市立金山病院）長谷部 正仁会員、採決を行い了承された。平成 30・31 年度飛騨地区選挙管理委員、役員推薦委員選出について、選挙管理委員（久美愛厚生病院）菅沼 康久会員、役員推薦委員（垣内病院）杉本 昌孝会員、（須田病院）山下 博子会員、以上 3 名の方を選出した了承された。

3) 平成 30 年度岐臨技飛騨地区活動予定としては①第 29 回高山市市民健康まつりを平成 30 年 10 月頃予定、②平成 30 年度県医学検査学会について飛騨地区担当となる旨を伝えた。

4) 平成 30 年度岐臨技活動計画として、初級職能開発講習を 4 月 22 日（日）岐阜大学医学部会議室で開催。第 67 回日本医学検査学会を 5 月 11 日（金）～13 日（日）静岡県浜松市で開催。岐臨技新人サポート研修会を 5 月 27 日（日）岐阜医療科学大学早緑ホールで開催。平成 30 年度春季拡大研修会・岐臨技定時総会を 6 月 10 日（日）岐阜医療科学大学早緑ホールで開催。認知症対応力向上講習会を 7 月 29 日（日）岐阜市で開催。第

57回中部圏支部医学検査学会を11月23日（金）～25日（日）三重県津市で開催。

5) その他、飛騨地区役員選出方法について説明した。地区理事（3名）について2名は、高山赤十字病院、久美愛厚生病院、下呂温泉病院より選出し2期4年を担当する。残り1名は、金山病院、その他施設（飛騨市民病院、須田病院、垣内病院、ファルコ）より選出し1期2年を担当する輪番制で行う。選挙管理委員は、高山赤十字病院、久美愛厚生病院、下呂温泉病院の3施設で理事を担当していない病院より選出する。役員推薦委員は、飛騨市民病院、須田病院、垣内病院、ファルコより理事を担当していない施設から2名を選出する。（荒井理事）

平成30年度岐阜県医学検査学会の開催会場として飛騨世界生活文化センターを予約しましたが、日にちが平成31年3月31日しか空いていませんでした。いかがいたしましょうか。（荒井理事）

県学会参加者の専門20点の申請について月が代っても可能かどうか日臨技に尋ねてみます。それから日程を考えましょう。（兼子会長）

以上承認されました。

市川理事より東濃地区からの報告があった。

東濃地区総会を開催した。開催日時は平成30年3月2日（金）18時30分～19時15分、開催場所は土岐総合病院大会議場。

主催は東濃地区担当理事、柴千春理事（ききょうの丘健診センター）、棚村一彦理事（多治見市民病院）、市川浩良理事（中津川市民病院）、美濃輪緑理事（県立多治見病院）議長は松井明男会員（多治見市民病院）、書記は吉村いづみ会員（中津川市民病院）の進行で開催しました。

資格審査員は（県立多治見病院 村井祐子先生）に依頼した。開催当日は18時38分現在で、東濃地区会員数121名中、出席は32名、委任状は70名、合計102名であり過半数以上で総会成立を宣言した。

第一号議案について、平成29年度活動報告は市川浩良理事より平成29年度中に東濃地区として主催した行事はなし。第二号議案について平成30年度活動計画（案）を市川浩良理事より、平成30年度中は東濃地区として主催する行事はありません。行事予定あれば理事までご一報下さい。との報告をした。

第三号議案について棚村一彦理事より、技師会事業・岐臨技事業・日臨技事業について報告した。職能開発講習会は開催日時：4月22日（日）8:30～16:00、場所は岐阜大学医学部、対象者は大学卒業後3～5年の正会員。検体採取研修会は名古屋会場があるうちに受けていただきたいと報告。診療報酬改訂に伴う説明会は 開催日時:3月24日(土)、場所は東京日本臨床技師会館3F会議室であります。

第四号議案について、平成30,31年度役員選出について市川浩良理事が報告した。輪

番表に従って割り当てると、次期地区理は土岐総合病院、東濃厚生病院、坂下病院より、役員推薦委員は県立多治見病院、上矢作病院より、選挙管理委員は多治見市民病院より推薦していただきたい。坂下病院と上矢作病院が病院縮小により人員減少のため役員選出困難となった。

平成 30・31 年度地区理事として県立多治見病院より土屋亘美会員、土岐総合病院より兼平昌彦会員、東濃厚生病院より羽柴久美子会員を推薦し承認を得た。選挙管理委員は多治見市民病院の棚村一彦会員、役員推薦委員は上矢作病院の市川達也会員、ききょうの丘健診プラザの鈴木重充会員と決定した。

新規案による平成 32 年度以降の輪番表（案）について今後合併等により変わるかもしれないとの報告をした。

その他質問については今回子供連れで総会に参加したいという意見がありましたがどうでしょうか。回答は棚村一彦理事より理事の判断だとは思いますが、技師会の東濃活動については子供連れでも良いかと思えます。と報告した。以上、議案はすべて異議なく承認され閉会されました。（市川理事）

青木理事より中濃地区からの報告があった。

29 年度中農地区総会について報告があった。議題は平成 29 年度活動報告、平成 30、31 年度中農地区理事選出について。第 58 回中部圏支部医学検査学会について。

理事選出輪番制の見直しについて討議した。活動報告では検査と健康展を 12 月 3 日に関市わかさプラザで開催したことについて報告した。

次期理事候補者は川合直樹会員（可児とうのう病院）乙訓佳子会員（関中央病院）、中村考博会員（鷺見病院）の 3 名に決定した。次期の選挙管理委員、役員推薦委員は現理事 3 名が任務を担う。（青木理事）

帖佐部長より学術部からの報告があった。

平成 30 年度新人サポート研修会の予算案についての報告があった。収入の部は一般会員参加費（60 名）60,000 円、非会員参加費（10 名）10,000 円、ランチョン 2 社（100,000 円）事業推進費 20,000 円、研修会参加者助成金 30,000 円、収入合計額 220,000 円。支出の部は会場使用料 0 円、お弁当お茶代 150,000 円、テキスト代 200,000 円を今回追加しました。印刷会社は西濃印刷に依頼します。会場警備費 24,000 円、会員講師日当（8 名）16,000 円、会員講師交通費 20,000 円、実務委員日当（9 名）10,000 円、実務委員交通費 20,000 円、支出合計額 440,000 円、収支合計額△220,000 円となった。

テキスト代については西濃印刷株式会社の見積書で印刷数 150 部、消費税込み合計額 212,220 円であった。（帖佐部長）

岐阜医療科学大学学生の学生は事務的に協力していただくので参加費は無料とします。テキストは用意しますが足りない分については岐阜医療科学大学でコピーをお願いしま

した。その他の大学の学生についてはテキスト代として一人あたり 1,000 円徴収します。
(帖佐部長)

以上承認されました。

平成 30 年度微生物部門研修会についての案内があった。開催日時は平成 30 年 6 月 23 日 (土) 13:30~17:30、会場は岐阜医療科学大学 1 号館 4 階 MT-3 実習室。(帖佐部長)

講義は人数を集めたいので別の部屋を用意します。(高崎部長)

研修内容は微生物検査の基礎知識と基礎技術(講義と実習)、講師:熊本保険科学大学 保険科学部医学検査学科教授 正木孝幸先生。参加申し込み方法については、今回の研修会は実習のため事前登録制とします。定員 15 名、参加費岐臨技会員は 1,000 円、非会員は 2,000 円を徴収します。研修会参加者には専門教科(20 点)が認定されます。(帖佐部長)

正木孝幸先生の講師料は 30,000 円で承認を取りました。

以上承認されました。

輸血細胞治療部門研修会についての案内があった。開催日時は平成 30 年 7 月 22 日(日) 9:00~13:00、会場は松波総合病院 南館 MGH ホール、研修会内容は(カラム凝集法を使用した輸血実習研修会)、実技研修は(血液型検査・不規則性抗体検査)、講演は(カラム凝集法の基礎と応用)講師:小黒博之先生(バイオラッドラボラトリーズ株式会社 診断薬カスタマーサポート部 シニア IH 学術スペシャリスト。参加費 1,000 円、定員 20 名、締め切は 7 月 6 日(金)。輸血実技研修会必要試薬代は税込 36,326 円です。以前よりも試薬代が安くなりました。

研修会参加者には専門教科(20 点)が認定されます。(帖佐部長)

以上承認されました。

臨床生理部門研修会(循環生理分野・超音波分野合同)についての案内があった。開催日時は平成 30 年 7 月 7 日(土) 14:00~16:40、場所は高山赤十字病院 本館 3 階 大講堂、研修会内容は日常診療に役立てよう。

スケジュールは 14:00~14:40 認定心電図検査技師が教える心電図判読、講師:松波総合病院 中央検査室 神谷敏之技師。14:50~15:30 日常診療に役立つ心エコー検査、講師:岐阜県総合医療センター 臨床検査科 長屋麻紀技師。15:40~16:20 循環器系放射線画像検査における基礎と判読、講師:高山赤十字病院放射線部 診療放射線技師 中西渉先生。16:20~16:40 心エコー症例と解説、講師:高山赤十字病院検査部 倉家淳技師。参加費は岐臨技会員無料、県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2000 円を試料代として徴収します。研修会参加者には専門教科(20 点)が認定されます。(帖佐部長)

中西渉先生の講師料は 10,000 円で承認されました。
以上承認されました。

佐藤部長より平成 30 年度精度管理事業部活動内容について報告があった。

委嘱状について、生理検査部門の渡邊恒夫会員から依頼があり、伊藤葵会員(木沢記念病院)、野村みどり会員(大垣徳洲会病院)、倉家淳 会員(高山赤十字病院)の 3 名に送付しました。(佐藤部長)

精度管理事業部役員変更については、生理は中島直美会員から渡邊恒夫会員(岐阜大学医学部附属病院)へ、血液は山本将毅会員から乾ゆう会員(岐阜市民病院)へ、情報は近藤眞一会員から棚橋正智会員(西美濃厚生病院)へ、細胞は酒井美穂会員から吉村昌昭会員(中津川市民病院)へ、一般は加藤雅子会員から山口明彦会員(木沢記念病院)へ変更いたしました。新規追加役員は水川真梨絵会員(山内ホスピタル)、田下智栄子会員(岐阜医療科学大学)、斎藤大輔会員(岐阜市医師会臨床検査センター)、榊間利政会員(岐阜市民病院)6月10日の総会後に業務内容を説明する予定です。

今後の予定について報告があった。精度管理調査案内文配布は5月20日、受付期間は6月1日から15日、昨年は締め切り後に15施設の参加希望があった。

案内書に色、締切日を赤字で目立つようにした。昨年は、基本料金のチェックが無い施設が11施設あった。基本料金のチェック欄を一番上の行に変更した。設問締切りは8月16日、第1回会議(設問確認作業)は8月17日、試料発送は(岐阜市民病院)8月26日を予定しております。(佐藤部長)

平成 30 年度精度管理事業役員一覧について報告があった。部長：佐藤恵彦理事(関中央病院)、副部長：田中滋人会員(岐阜市医師会臨床検査センター)、会計：山本初津恵会員(東海学院大)、事務部：玉置佳澄会員(岐阜赤十字病院)、水川真梨絵会員(山内ホスピタル)、田下智栄子会員(岐阜医療科学大学)、斎藤大輔会員(岐阜市医師会臨床検査センター)、試料作成：榊間利政会員(岐阜市民病院)、三島功士会員(岐阜市民病院)、伊藤秀明会員(岐阜市民病院)、標準化：平光幹彦会員(岐阜市民病院)、臨床化学：渡邊景介会員(東海中央病院)、大森由佳里会員(岐阜大学医学部附属病院)、免疫血清：武藤延秋会員(東濃厚生病院)、病理：片桐恭雄会員(岐阜大学医学部附属病院)、微生物：長島敏之会員(メディック)、藤木誠会員(岐阜県下呂温泉病院)、輸血：八木良仁会員(岐阜県多治見病院)、血液：乾ゆう会員(岐阜市民病院)、生理：渡邊恒夫会員(岐阜大学医学部附属病院)、一般：山口明彦会員(木沢記念病院)、細胞：吉村昌昭会員(中津川市民病院)、情報：棚橋正智会員(西美濃厚生病院)、精度管理責任者(腹部)：渡邊恒夫会員(岐阜大学医学部附属病院)、循環生理分野(心臓超音波①)：倉家淳会員(高山赤十字病院)、循環生理分野(心臓超音波②)：伊藤葵会員、(総合木沢記念病院)、循

環生理分野（心電図）：北川大祐会員（大垣市民病院）、超音波分野（腹部①）：今吉由美会員（大垣市民病院）、超音波分野（腹部②）：野村みどり会員（大垣徳洲会病院）、超音波分野（血管）：上村まどか会員（土岐市立総合病院）、神経生理（脳波）：野寺咲世会員（東海中央病院）、神経生理（誘発）：石井美江会員（可児とうのう病院）ご協力お願いいたします。（佐藤部長）

その他の新役員への委嘱状は各施設に必要なかどうか尋ねます。（佐藤部長）

以上承認されました。

清水部長より組織調査部からの報告があった。

岐阜県が主催する無料 HIV 検査会を今年度も実施するようで、お手伝いいただきたいとの連絡がありましたがどのようにいたしましょうか。（清水部長）

岐臨技も引き続き参加するという事で承認されました。

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

岐臨技会報誌第 56 号が完成しました。内容は第 56 回岐阜県医学検査学会報告、都道府県リーダー育成研修会と初級・職能開発講習会報告、中部圏支部研修会の報告、第 67 回日本医学検査学会報告、施設紹介は特定医療法人 博愛会病院（桑原理恵会員）、医療社団法人 清光会 岐阜清流病院（森さゆり会員）を掲載しました。（高崎理事）

以上承認されました。

柴部長より人材育成部からの報告があった。

平成 30 年度職能開発講習会について報告があった。開催日時は平成 30 年 4 月 22 日、会場は岐阜大学医学部会議室、参加予人数は 30 人（実務委員 8 名 講師 1 名 取材 1 名（株）じほう 枇々木氏）。4 月 22 日、岐阜大学医学部会議室にて開催しました。

若手会員の 3～5 年を主体に、30 名が受講しました。講師は日臨技より、横地常広副会長、深澤恵治執行理事の両氏をお招きしました。

講義内容は、宮島喜文会長講話「医療現場が求める臨床検査技師像」をビデオ投影し、深澤執行理事による解説・補足講義を 60 分。横地常広副会長の基調講演「医療現場が求める臨床検査技師の育成」を 120 分。午後からは、グループワークとして、①スタッフの意識改革と組織強化、②業務体系の変革（受動から能動態へ）、③生涯教育の意義とあり方、以上の 3 つの中から、テーマを自由決定し、最後にグループごとに発表を行いました。講習会効果としまして、比較的若い 20 代にはあまり考えることの少ない「臨床検査技師のあり方」について、他施設、他の専門分野の方々、同世代の仲間と、意見交換できたことは、とても貴重な経験だと考えます。この先 10 年後、この講習会がきっかけに、これからの在宅医療や病棟検査技師、認知症分野での第一線で活躍する中堅技師が輩出されることを期待します。

今回実務委員として協力いただいた 8 名は鈴木敦会員（木沢記念病院）、兼子徹理事（澤田病院）、関敏秀会員（揖斐厚生病院）、浅野敦理事（大垣市民病院）、柴千春理事（岐阜県産業保健センター）、森さゆり監事（岐阜中央病院）、市川浩良理事（中津川市民病院）、川村勇人会員（岐阜大学医学部附属病院）である。（柴部長）

平成 30 年度職能開発講習会決算について報告があった。収入の部は、受講料 0 円（1,000 円/人×30 名、受講料は無料（岐臨技が負担しました）、日臨技助成（定額）50,000 円一律定額 50,000 円、日臨技助成（受講者）30,000 円、1,000 円×受講者人数（30 名）、雑収入 0 円、収入合計額 80,000 円。支出の部は、会場費 0 円、設備・備品費 0 円、旅費交通費・日当 31,340 円、実務委員 8 名分（食卓費 5,341 円含む）、会議費 0 円、通信運搬費 0 円、備品郵送代は日臨技負担（着払い）、消耗品費 0 円、広報費 0 円、雑費 341 円（講師飲物代）、合計支出額 31,681 円。日臨技理事 2 名の交通費はこちらの決算書には含みません。

平成 30 年度より、旅費等の精算は行いません。定額 5 万円と受講人数×1,000 円を助成する。（日臨技より）余剰金が出た場合は返金を必要としない。（日臨技より）（柴部長）以上承認されました。

その他

平成 30・31 年度役員選挙の結果について高木理事より報告があった。

平成 30 年 5 月 9 日 19 時 00 分から岐阜県臨床検査技師会事務所において、（選挙管理委員長奥田清司）、武藤次郎（岐阜赤十字病院・岐阜）、土屋雅子（東濃厚生病院・東濃）、藤井泰三（木沢記念病院・中濃）、熊崎幸代（下呂温泉病院・飛騨）の選挙管理委員と、立会人として児玉千里（大垣市民病院）、奥田文江（大垣市民病院）会員の 2 名、その他理事 3 名（兼子徹（澤田病院）、清水康之（大垣徳洲会病院）、高木康雄（羽島市民病院））により平成 30・31 年度役員選任承認の開票作業を実施しました。

開票作業時である 5 月 9 日現在の岐阜県臨床検査技師会員数は 820 名でした。開票結果は、有効投票数 682 票、無効投票数 7 票でした。その内訳ですが、藤本伸吾さん、以下地区理事 17 名、学術部長渡邊宜典（タカノリ）さん、以下 5 名および監事 2 名の役員候補全員は、600 票以上の承認があり、総会運営規程第 6 章選挙と投票第 25 条 3 項に基づき有効書面の過半数である 411 票を上回っており、役員承認がなされたことをここに報告します。（選挙管理委員長 高木理事代読）

以上承認されました。

定時総会（6 月 10 日日曜日）までの準備について高木理事より報告があった。

平成 30 年度定時総会の議案内容については第一号議案、平成 29 年度事業報告・平成 29 年度決算報告・平成 29 年度 監査報告である。第一号議案は本理事会で承認をいただきたい。

承認後 5 月 22 日（火）に岐臨技 Hp にアップロードします。

第二号議案は平成 30・31 年度理事候補者について、4 月 20 日定期便で平成 30.31 年度役員選任の案内と議決権行使書を発送しました。役員承認議決権行使は終了しています。

定時総会招集通知・議決権行使書は 5 月 15 日（火）（臨時便）で発送しました。議決権行使書の返信期限を 5 月 31 日（木）必着とします。

議決権行使書開票作業は開票日が 6 月 5 日（火）、開票時間は 18 時 30 分より、開票場所は岐臨技事務所、開票者は 5 名、高木庶務部長・浅野副会長・森監事・太田監事・清水部長に協力いただきます。

開票確認事項として第一号議案書面評決数（承認する数）・（承認しない数）・（無効数）・（定時総会出席数）の確認し、同日監事の承認を取ります。（高木部長）

定時総会の進行準備について役員選出をおこなった。司会者（庶務部長）。開会の辞（浅野副会長）、議長 2 名は外川綱生会員（揖斐厚生病院）と日々敏男会員（大垣市民病院）。書記 2 名（庶務部長・松浦理事）、資格審査委員、岐阜地区（後藤・林・早川理事）西濃地区（川島理事）、飛騨地区（舟橋理事）、東濃地区（市川理事）、中濃地区（林泉理事）、資格審査報告（川島理事）、監査報告（太田監事）、閉会の辞（棚村副会長）で進めます。（高木理事）

以上定時総会までの準備について承認されました。

平成 29 年度岐臨技事業報告・決算報告について報告があった。

冒頭については兼子会長より報告があった。

一般社団法人岐阜県臨床検査技師会定款の第 3 条には当会設立の目的が記されています。それは、「衛生思想の普及及び啓発並びに臨床検査を通じての地域保健事業への協力を行うとともに、臨床検査に関する技術及び知織の向上を図り、もって公衆衛生の向上と県民の健康の保持・増進に寄与する」です。また、目的を達成するために、以下の事業を行うよう定められています。（1） 衛生思想の普及及び啓発に関すること。（2） 臨床検査を通じての地域保健事業への協力に関すること。（3） 学会の開催に関すること。（4） 臨床検査に関する講習会、研修会及び研究会に関すること。（5） 会誌の編集・発行に関すること。（6） 検査及び検査技師の実態調査に関すること。（7） 精度管理事業に関すること。（8） 内外関係団体との交流に関すること。（9） 県民の健康増進に関すること。（10） その他この法人の目的を達成する為に必要な事業の実施に関すること。目的達成を目指し、平成 29 年度も多く事業を実施しました。いずれも、会員・賛助会員の皆様のご尽力なくしては、成し遂げられませんでした。ご支援・ご協力に深く感謝いたします。

【新しく行った事業】人材育成部会を新設し、「岐阜県リーダー育成講習会」を開催しました。平成 31 年度の中部圏支部医学検査を岐臨技担当で開催するために、会議と視察

を行いました。

【終了した事業】「検査説明・相談ができる検査技師育成講習会」事業は、平成 26 年度から 3 年間同様の事業（講習会）を行う予定で開始し、平成 28 年度が 3 年目（最終年度）でしたので、平成 29 年度には開催しませんでした。

【継続して行った主催事業】平成 28 年度に行った主催事業は、平成 29 年度にも実施しました。ただし、事業によっては細かな内容や実施回数などが異なる場合があります。日臨技中部圏支部研修会は、臨床一般部門と病理細胞部門の研修会を、岐臨技担当にて開催しました。飛騨地区健康イベントの会議・作業・出張は申請が行われなかったため、回数表示がありませんが、終了はしていません。（兼子会長）

帖佐部長より平成 29 年度学術部事業報告があった。

各種学会、第 66 回日本医学検査学会は平成 29 年 6 月 17-18 日 幕張 メッセ国際会議場で開催され、岐阜県からは、発表 6 題、座長は 4 名であった。

中部圏支部医学検査学会（第 56 回）は平成 29 年 9 月 30-10 月 1 日、名古屋国際会議場で開催され、岐阜県からは、発表 7 題、座長は 6 名、シンポジウム講師 8 名であった。

第 56 回岐阜県医学検査学会は岐阜地区担当し平成 30 年 3 月 25 日（日）OKB ふれあい会館 3 階 大会議室（302）で開催され、発表 15 題、座長は 5 名、教育講演は清島満先生、市民公開講座は奥田 昌子先生であった。

拡大研修会について、春季拡大研修会は岐阜地区担当し平成 29 年 6 月 4 日（日）岐阜大学医学部記念会館 2 階ホールで開催され、輸血部門は北川 順一 先生、血液部門は笠原 千嗣先生、シンポジウムは金森 寛充先生であった。

秋季拡大研修会は飛騨地区担当した。平成 29 年 11 月 12 日（日）飛騨世界生活文化センター 大会議室で開催され、生理部門は赤津裕康 先生検査総合部門は山田逸枝 先生、市民公開講座は垣内無一先生であった。

部門研修会について、生物化学分析部門は研修会 3 回、臨床生理部門は研修会 5 回、臨床一般部門は研修会 3 回、臨床血液部門は研修会 5 回、病理・細胞部門は研修会 5 回、臨床微生物部門は研修会 5 回、輸血・細胞治療部門は研修会 6 回、染色体・遺伝子部門は研修会 2 回、臨床検査総合部門は秋期拡大研修会で 1 回、開催された。

岐臨技 新人サポート研修会について、平成 29 年 5 月 28 日（日）岐阜医療科学大学で開催され、8 部門から新人、学生に講義を行った。

平成 29 年度日臨技 功労賞・学術奨励賞は岐阜県から該当者なし。

平成 29 年度「医学検査」投稿論文は岐阜県から 1 題（森さゆり会員）。

平成 29 年度「医学検査」投稿 岐臨技推薦論文は岐阜県から該当者なし。

岐阜県臨床検査技師会会誌は論文数 5 題であった。（帖佐部長）

佐藤部長より平成 29 年度精度管理事業報告があった。

岐臨技精度管理について、参加施設は合計 79 施設（医療施設 58、メーカー21）で、前年と比較して医療施設が 2 施設増加した。

地区別では岐阜地区と飛騨地区が前年から各 1 施設増加、東農地区は 2 施設増加、西濃と中濃は各 1 施設減少している。

試料別では、臨床化学、免疫血清、CBC、尿一般検査が増加したが、凝固、便、微生物、細胞診、生理検査は減少した。

精度管理報告会の参加は 90 名（技師会会員 69 名、非会員 20 名）で、昨年と比べて技師会会員が 1 名増加している。

年間スケジュールとして、受付は 6 月 1 日から 15 日までとしたが、参加登録を忘れていた施設が多く、受付終了時は 64 施設しかなかったため、受付期間を延長して、参加依頼したところ 79 施設まで増加した。試料の発送は、8 月 27 日（日曜日）に岐阜市民病院で、ゆうパックで行った。9 月 11 日に回答を締め切り、C、D の評価施設に 1 次報告書を郵送した。2 次サーベイ後の最終評価は 10 月 27 日、最終報告書は 12 月 26 日に総括集と共に発送した。

参加費用は、昨年度、免疫試料の変更、今年度は臨床化学の試料を変更したことにより経費が高騰したため、やむなく免疫（腫瘍マーカー）2,000 円→3,000 円、臨床化学 2000 円→3,000 円に改定した。経費節減のため、会議の減少（昨年 4 回→3 回）、精度管理事業部総括集の簡素化（カラーからモノクロ）により約 10 万円削減した。

試料について、臨床化学の試料は今年度から日臨技の試料を採用した。しかし送料 7 万円と予想外の請求があり、今年度は日臨技で送料の見直しが行われている。CBC と HbA1c の試料は、昨年度同様に健常者 2 名から発送当日に採血して作成した。輸血試料は血液センターからの有償試料、尿、便は自家製試料を作成した。

評価結果について、1 次評価においては C、D 評価の項目が全体で 142 件（昨年度 147）認められ、昨年度と概ね同じであったが、2 次サーベイで 44 件（昨年度 28）まで減少している。

Photo サーベイでは、腹部超音波において 1 次評価 D が 8 件みられたが 2 次サーベイで 1 件に減少、同様に心臓超音波は 18 件から 9 件、血液は 15 件から 2 件に減少している。

まとめとして、JAMTQC による精度管理は 5 年目となり、実施方法は毎年問題点を改善して、概ね確立したと考えられる。

参加施設の測定精度は向上しており、C、D 評価項目においては適正な是正処置が実施されている。岐阜県の精度管理調査としては全国サーベイが実施していない 2 次サーベイなど各施設との直接的なコミュニケーションを取ることで、問題点の是正や標準化の向上を図っていきたい。（佐藤部長）

清水部長より平成 29 年度組織調査部事業報告があった。

啓発および保健衛生事業として、検査と健康展、開催日時：平成 29 年 12 月 3 日（日）10 時～15 時、場所：わかくさプラザ岐阜県関市、主催：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会、共催：日本臨床検査専門医学会・臨床検査振興協議会、後援：厚生労働省・日本医師会・日本看護協会・全日本病院協会・日本臨床検査医学会・日本臨床検査薬協会・岐阜県病院協会・岐阜県看護協会・関市教育委員会。

対象：中学生・高校生・一般市民、事業内容：各部門による、検査室業務の紹介、【生物化学分析部門】唾液アミラーゼモニターを利用した体験型ストレスチェック、【臨床生理部門】超音波で体の中を見てみよう、超音波診断装置を用いて、頸動脈を、実際にプローブをもって実体験、【臨床一般部門】模擬尿（ジュースなど）による尿検査の実施、【臨床血液部門】貧血の検査、血球の説明（パネル展示）、【病理細胞部門】体内臓器を細胞まで見てみよう（顕微鏡を用いた病理標本観察）、【臨床微生物部門】チェッカーを用いての手洗いチェック、【輸血細胞治療部門】輸血と血液型（パネル展示）、【臨床検査総合部門】健康相談コーナー、物忘れプログラムを用いた認知症検査、【その他】臨床検査技師紹介 DVD 上映、健康相談、専門医による健康相談（三楽病院 東條先生、信州大学付属病院 金井先生）リーフレット配布、技師派遣：39 名、来場者数：240 名。

各地区市民健康まつりについて、平成 29 年度 第 28 回高山市市民健康まつり、日時：平成 29 年 10 月 2 日（日）10：00～14：30、場所：高山市保健センター1 階、内容：物忘れプログラム 93 名、骨密度測定（ビーナス）168 名、技師派遣：14 名。

平成 29 年度 大垣市市民の健康ひろば、日時：平成 29 年 10 月 15 日（日）10：00～15：00、場所：大垣城ホール、内容：血管年齢測定（ダイナパルス 2 台）、骨密度測定（ビーナス 1 台）、生活習慣病の予防啓発、臨床検査コーナー来場者 443 名、技師派遣：13 名。

平成 29 年度 第 38 回 ぎふ市民健康まつり、日時：平成 29 年 11 月 5 日（日）10：00～15：30、場所：岐阜市民文化センター、内容：尿検査（US-2200 2 台）250 名、血管年齢測定（ダイナパルス 3 台）769 名、頸動脈超音波検査（Xario 2 台）183 名、健幸ウォークに参加、技師派遣：36 名。

HIV・STI 予防に関する事業、①平成 29 年度 MSM 対象無料 HIV 検査会（主催 岐阜県健康福祉課）、日時：平成 29 年 11 月 12 日（日）12：30～18：00、場所：ハートフルスクエア G、技師派遣：6 名、

②平成 29 年度 HIV 予防啓発活動（西濃保健所と合同開催）、日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）10：00～12：00、場所：岐阜経済大学、技師派遣：7 名。

人材育成に関する事業（人材育成部会担当）都道府県リーダー育成研修会、日時：平成 30 年 3 月 4 日（日） 9：10～17：30、場所：OKB ふれあい会館 小会議室、参加者：19 名。功労者表彰対象者、永年職務精励者選出、平成 30 年度 「岐臨技検査と健康展」の開催を検討する。（清水部長）

高崎部長より平成 29 年度広報宣伝部事業報告があった。

会報「ぎふ臨技」の発行について、岐臨技会報第 52 号 (2017.5.20)、岐臨技会報第 53 号 (2017.7.20)、岐臨技会報第 54 号 (2017.10.20)、岐臨技会報第 55 号 (2018.1.20)、掲載内容：各種学会報告、拡大研修会報告、各部門研修会の案内・報告、施設紹介、投稿記事など。ホームページの維持管理、(株) ディックナレッジテクノソリューションを通じて各種情報を掲載。

ホームページ バナー広告協力メーカーの契約管理、新規獲得、10 月～次年度 10 月まで、36,000 円/社の年間計画、現在 4 社 (積水メディカル、栄研化学、シーメンスヘルスケア、アークレイマーケティングである。(高崎部長)

柴部長より平成 29 年度生涯部事業報告があった。

平成 29 年度定時総会において、平成 28 年度決算承認後、公益目的支出計画実施報告書を作成し、電子申請を行なった。県医療整備課より、1 度の修正指摘を受け修正し、審査完了となった。平成 28 年度、公益目的支出は予定通り。終了予定年度：平成 36 年 3 月 31 日、当該事業年度末日の公益目的財産残高：9,648,376 円 (平成 29 年 7 月通知)。

岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会大腸がん部門 (H30.01.24)、岐阜県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 (H30.02.02 H30.02.15) 参加。

岐阜県臨床検査技師会、懇親会の準備 (本年度は 7 月・10 月・11 月・2 月に実施) (柴部長)

高木部長より平成 29 年度庶務部事業報告があった。

庶務部及び事務員の業務として 1、研修会・連絡事項等の発送 (毎月 20 日)。2、理事会・常務理事会の開催案内送付 (メールにて)。3、事務所使用管理。4、日臨技・各種団体・会員・賛助会員よりの問い合わせ等の対応。5、各種の書類管理。6、理事会・常務理事会資料作成。7 定時総会・理事会・常務理事会の議事録作成。8 会費管理に関する事項の対応。9 定時総会出席者の日臨技生涯教育制度への登録。10、事務所、マンション管理組合総会への出席。等を業務としております。

事務所使用状況については岐臨技役員主催による会議等、理事会・常務理事会・部門長会議・精度管理事業部会議・拡大研修会会議・岐阜市健康まつり等で使用されました。一般会員の使用はありませんでした。

3) 事務所のカギ管理状況については、平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日の期間において、鍵 (7 本及び予備 1 本) の管理状況は、紛失などの届出はなく適正に管理されていました。

4) 理事会・常務理事会の開催月、理事会 5 回 (5 月、8 月、10 月、12 月、2 月) に開催、常務理事会 4 回 (6 月、9 月、11 月、1 月、) に開催しました。(高木部長)

乙訓部長より平成 29 年度会計決算報告があった。

収支計算書は予算額と決算額を比較表示しています。主な増減事項を説明します。

経常収益では、入会金・会費収入の正会員会費収入・賛助会員収入、②事業収入の研修会収入・広告収入は予算作成時に次年度の状況が不確定であるため例年予算額を少なく見積もっており決算額の方が大きくなりました。

経常費用の事業費では旅費交通費の増加は主に平成 31 年度の日臨技中部支部医学検査学会を岐阜県が担当となり会議視察を実施したことと、岐阜県リーダー育成講習会を開催したことによる。

通信運搬費のホームページ維持費は岐臨技ホームページ改修費用の発生を想定し予算を作成したが改修を行わなかったため減額となった。

消耗品費は年度によって増減が大きい為予算を多くとりましたが思いのほか使用されず減額となった。

試料代は安定性と比較のしやすさを考慮し日臨技に変更したところ増額となった。

製本費は予定通り 7 件の製本を行ったがそのうち 5 件で増額となった。

講師等謝礼金は 14 事業のうち 9 事業で減額し全体でも減額であった。

会場費は検査と健康展で予算より少なかったため減額となった。

管理費の減価償却費は一部備品の減価償却が終了したことと新たに減価償却費が発生するような什器備品の購入が無かったため減少した。

正味財産増減計算書は前年比と当年度の決算額を比較表示しています。

主な増減事項は、会費収入は正会員会費が 16 名、賛助会員会費が 5 社増加した。

精度管理収入は購入先の変更を見越し参加費を上げたことで増額となった。

研修会等参加収入と交付金等収入の学会研修会助成金収入は検査説明・相談講習会が終了したことにより減額した。

広告料収入は新人サポート研修会でランチョンセミナーを実施したことで増額となった。

印刷費は岐阜県学会・春季拡大研修会で減額となり全体でも減少した。

消耗品・管理費の増減は収支決算書と同様である。

賃借対照表と財産目録の負債の部（前受金）は平成 30 年度分の正会員会費収入のほとんどが 29 年度中に入金があったものです。これは毎年同じです。

収支計算書について、経常収益合計を見ると予算額 12,980,100 円、決算額 13,763,195 円、増減△783,095 円であった。経常費用を見ると予算額 12,980,100 円、決算額 11,973,914 円、増減△1,006,186 円であった。当期収支差額合計は△783,095 円であった。△預金残高は 21,474,440 円である。（乙訓部長）

平成 30 年度定時総会議案書（平成 29 年度岐臨技事業報告・決算報告・監査報告並び

に平成 30.31 年度役員承認) については本理事会に於いて全員一致により承認された。

議案書は 5 月 22 日 (火) までに岐臨技ホームページに掲載します。(高木部長)

議長 藤子 徹 

議事録署名人 太田 義和 

議事録署名人 森 十郎 

